

仙台市が発行する「グリーンボンド」への投資について

一般社団法人宮城県林業公社(理事長:高橋壯輔、以下「当公社」という。)は、このたび、仙台市が発行するグリーンボンド(仙台市第2回グリーンボンド公募公債(5年)、以下「本債券」という。)への投資を決定しましたので、お知らせします。

「グリーンボンド」とは、気候変動の緩和・気候変動への適応に資するプロジェクトなどの資金調達のために発行される債券のことであり、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。本債券は、ICMA(International Capital Market Association / 国際資本市場協会)が定義するグリーンボンド原則2021、環境省グリーンボンドガイドライン2022年度版に適合する旨、株式会社格付投資情報センター(R&I)からセカンドオピニオンを取得しております。

当公社は、本債券を始めとしたSDGs債への投資を継続的に実施することで、今後も環境及び社会の課題解決につながる事業やSDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、社会的責任を果たしてまいります。

本債券の発行による調達資金は、東日本大震災を経験した仙台市が進める『防災環境都市づくり』において必要となる下表の環境施策に充当されます。

分類	事業内容
再生可能エネルギー	・市有施設への再生可能エネルギー設備導入
エネルギー効率	・市有施設のエネルギー効率改善を含む長寿命化改修 ・ごみ処理施設整備(含む改良や更新等)
グリーンビルディング	・環境性能の高い市有施設の新築、改修
気候変動への対応	・道路等防災対策、道路整備(排水性・透水性舗装) ・河川改修、浸水対策 ・急傾斜地緑地防災対策

<本債券の概要>

銘柄	仙台市第2回グリーンボンド公募公債(5年)
年限	5年
発行額	38億円
発行日	2023年9月20日

(1) ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと